

# 都市計画マスタープランの策定に向けて 『くまがやまちづくり 地区別ワークショップ』 を開催しました

## ワークショップ開催報告 西部地域版

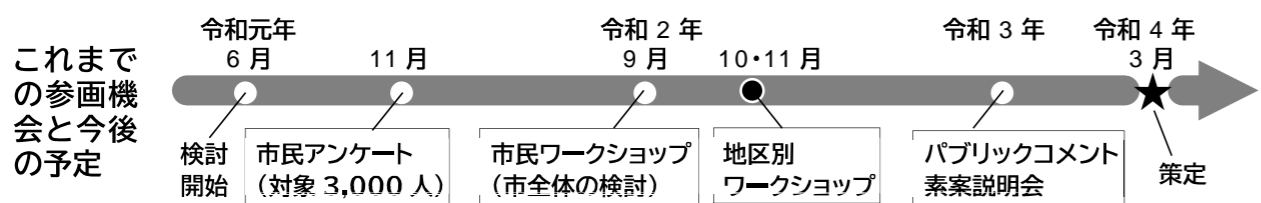
市では、都市計画やまちづくりを進めるための総合的な計画である『都市計画マスタープラン』の策定作業を進めています。将来のまちづくりに対する市民の皆さんの声を計画に反映するため、令和2年10月・11月に地区別ワークショップを開催し、延べ73名の方々に参加いただきました。この開催報告では、ワークショップの概要と市民のみなさまから頂いた意見の一部をご紹介します。

### 〈開催日時と参加者数〉

北部地域	令和2年10月31日(土)	妻沼中央公民館	参加者16名
☆西部地域	令和2年10月31日(土)	さくらめいと	参加者19名
中央地域	令和2年11月 3日(火)	商工会館(中央)	参加者13名
東部地域	令和2年11月 3日(火)	商工会館(東部)	参加者14名
南部地域	令和2年11月 7日(土)	江南公民館	参加者11名

### 都市計画 マスター プランとは？

概ね20年後を目指し、都市計画やまちづくりを進めるための基本的・総合的な考え方を定める計画で、土地利用、道路・交通、環境・緑・景観、住環境、防災などの分野が対象です。



## ① ワークショップの検討テーマ・手順

ワークショップは以下のテーマ・手順で検討を進めました。



## ② 西部地域で出された主な意見

将来の地域のまちづくりを検討していただき、以下のような意見が出されました。

### 地域の魅力と課題は？

#### ●魅力

- ・始発駅(籠原駅)があり便利
- ・住宅地が増え、若い人が多い
- ・住みやすい(自然豊かで静かな住環境、区画整理による基盤整備、適度に都会、適度に田舎)
- ・スーパーや薬局が多く日常生活が送しやすい
- ・さくら運動公園や別府沼公園、田畑、野鳥の森など自然も残されている
- ・小学校を中心とした子ども会、自治会などコミュニティがしっかりしている など

#### ●課題

- ・雨天時に遊べる場所がない
- ・バスが通っていない地域、バス停が遠い地域がある
- ・住宅地内の道路が狭い、通学路に歩道がない
- ・空き家、空き地(駐車場だらけ、遊休農地)
- ・老々世帯、空き家が増えている
- ・中核病院や産科、小児科が不足など

### 実施してほしい取組

#### ●魅力向上のための取組

- ・サテライトオフィスの整備
- ・農地や自然の保全(観音山周辺の保全)
- ・日常的に運動する環境づくり(散歩ルートづくり)
- ・別府沼公園を総合公園に(焼却炉を利用した温水プール)
- ・籠原駅と熊谷駅の間に駅を作してほしい
- ・住みやすさを生かした人口増加 など

#### ●課題解決のための取組

- ・福祉・子育て環境の充実(学童保育、給食費無償化)
- ・公共施設の充実(市民活動センター、図書館、心地いい公園)
- ・公共交通の充実(デマンド交通、小型バス)
- ・道路の安全性確保(安全な通学路、街灯を増やす)
- ・空き家の利活用(リフォーム、集まれる場所づくり、学校の空き教室利用) など

### 地域の将来像

#### ●実現したい将来の生活(キャッチフレーズ)

- ・みどりに囲まれて高齢者と子育て世代が共存共栄できるまち
- ・住みやすいまち(集まれる、子育てしやすい、移動が便利、安全安心)
- ・ずっと熊谷で暮らしたい!!(徒歩圏に保育園～学校、若者が働く場がある、高齢者が働く・集まる場所)
- ・たのし(お祭り、あいさつ) すずし(自然の涼しさ、のどか) うつくし(健康的な農産物を特産品に、女性の活躍)

### ワークショップの様子



Aグループ

Cグループ



Bグループ



Dグループ